

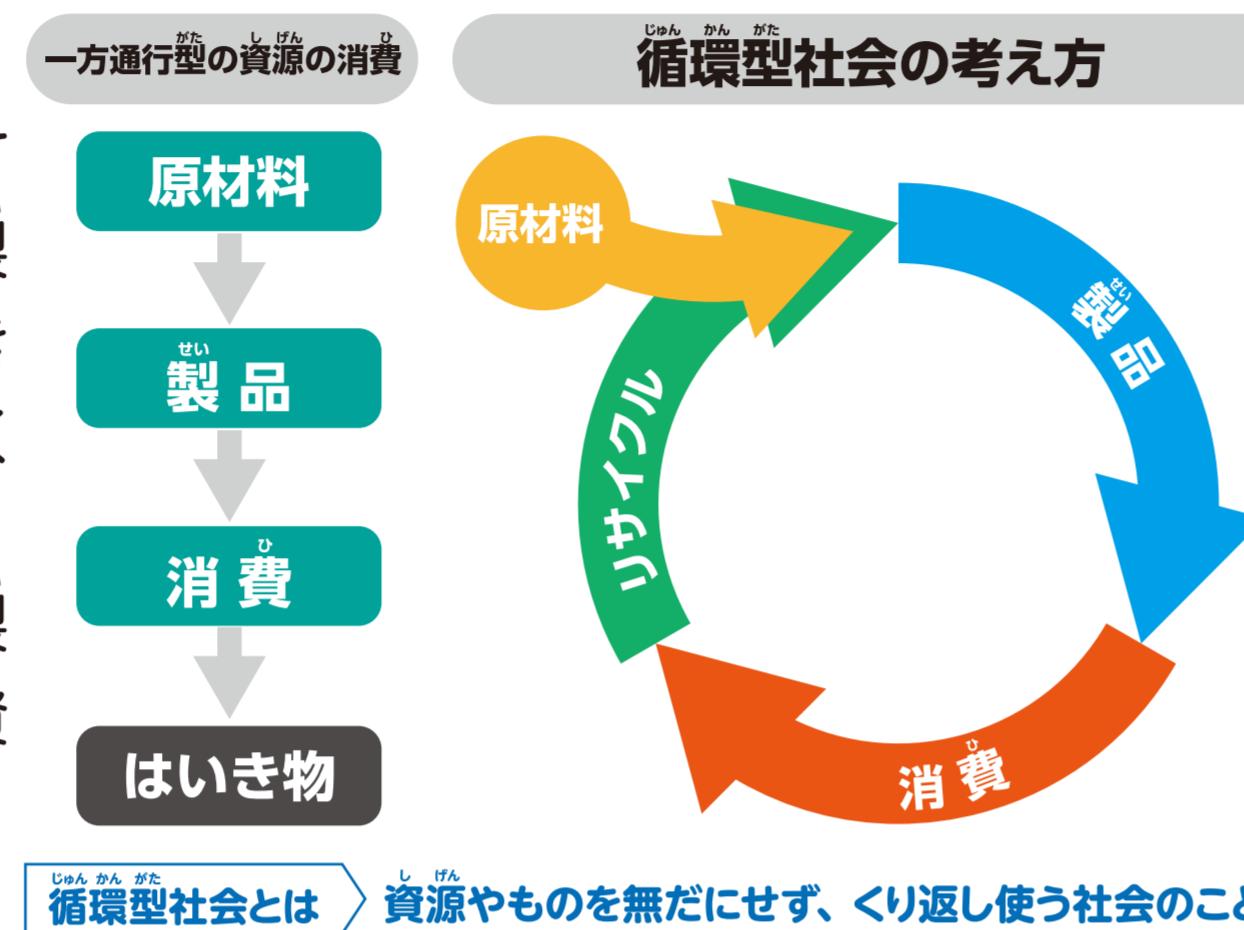
# 未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう～カーボンハーフ～

## 循環型社会とカーボンハーフ

### ●循環型社会とは

わたしたちの社会では、地球上の資源を使って様々な製品を作っています。これまで、大量に製品を作り、使い終わったらはいき物として処分してきました。このように、一方通行で資源を消費していくと、はいき物が増え、資源がなくなってしまいます。

このような一方通行型の資源の消費ではなく、製品の再利用や、リサイクルなどによって、限りある資源を大切に使っていく社会が、循環型社会です。

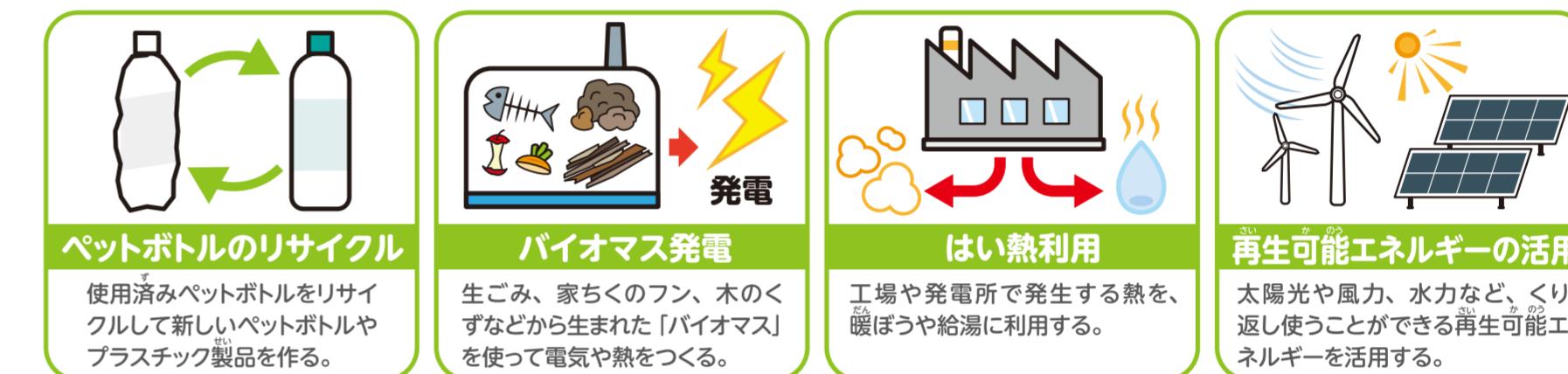


循環型社会とは 資源やものを無だにせず、くり返し使う社会のこと

### ●循環型社会と温室効果ガスのはい出量

循環型社会の実現は、地球温暖化対策とも深い関係があります。製品を作るときや、はいき物を処分するときには、二酸化炭素などの温室効果ガスがはい出されます。循環型社会を実現するための資源やエネルギーを循環させる取り組みは、温室効果ガスのはい出を減らすことにつながります。

#### 循環型社会における取り組みの例

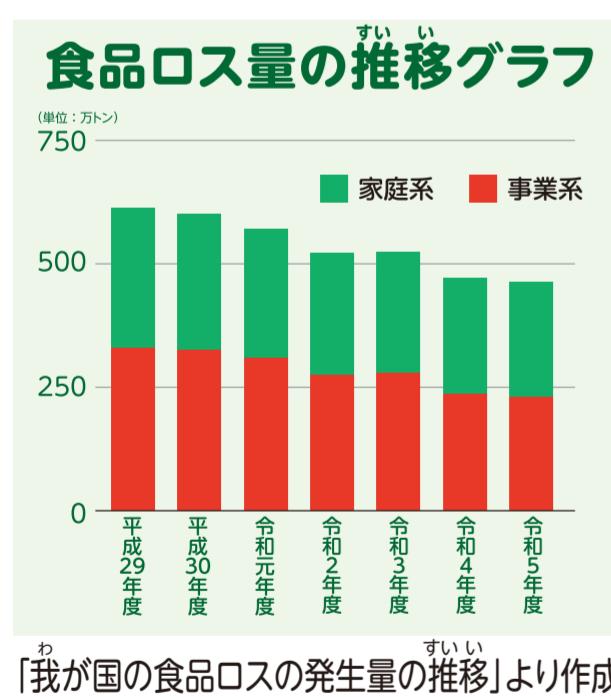


循環型社会は、地球に優しい社会といふこともできるね。



### ●食品ロスを減らそう

循環型社会の実現に向けた課題の一つが食品ロスです。食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことで、日本では毎日多くの食品が食べられずにはいきされ、ごみとなっています。



### ●深刻化するプラスチックごみの問題

軽量で色々な形や大きさに加工ができるプラスチックは、わたしたちの生活に欠かせないものである一方、深刻な環境問題につながっています。

プラスチックごみの多くは焼きやく処理され、そのときに二酸化炭素がはい出されます。また、正しく処理されなかったプラスチックが海に流れ出し、海洋プラスチックごみとなって、海の生き物に悪影響を及ぼしています。

このような問題を防ぐためには、社会全体でプラスチックごみを減らす工夫をすることが大切です。



### ●3Rに取り組もう

循環型社会を実現するためには、わたしたち一人一人が資源やものを無だにしないことが大切です。

ごみを減らし、地球の資源を大切にするための三つの取り組み「Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)」が3Rです。リサイクルするにはエネルギーを使うため、まずはごみを出さないようにすることが重要です。



最近は、Renewable(リニューアブル)という言葉も使われているよ。どのような意味か調べてみよう。



### 考えてみよう・・・

今後、循環型社会を実現していくためには、どのような取り組みが必要となるか、考えてみましょう。



### 調べてみよう

#### 東京食品ロス0(ゼロ)アクション



[東京都環境局]  
[https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/resource/recycle/tokyo\\_torikumi/promotion](https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/resource/recycle/tokyo_torikumi/promotion)

食品ロスを減らすために、どのような取り組みが行われているか調べてみよう。



#### 最近よく聞く「Renewable」って何?

[一般社団法人プラスチック循環利用協会]  
<https://www.pwmi.jp/library/library-1692/>

「3R+Renewable(リニューアブル)」について調べよう。



HTT  
東京・東京電力  
電力をへらす  
つくめるための  
VEGETABLE BANK  
VEGETABLE BANK  
リサイクル農業